

報道発表資料  
令和元年10月18日  
北陸地方整備局  
東京管区气象台  
長野地方气象台

## 台風第19号に伴う千曲川洪水予報発表基準の暫定的な運用について ～10月18日から暫定基準水位を設定します～

台風第19号による大雨により、長野県長野市穂保地先において千曲川の堤防が決壊しました。

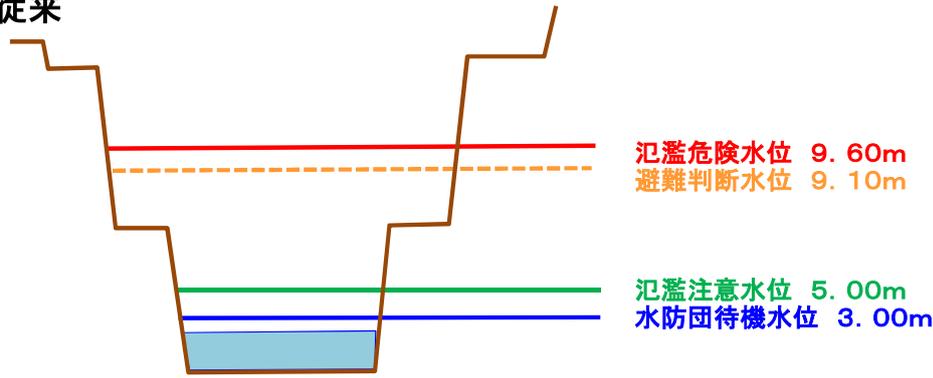
このため、千曲川について国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所と長野地方气象台が共同で発表している「洪水予報」の発表基準を、堤防の決壊による被災状況を考慮し、令和元年10月18日から別紙のとおり新たに設定した水位の暫定基準にて洪水予報の発表を開始します。

今後も前線や低気圧等の影響により大雨となった時には、河川水位が急に上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報に注意してください。

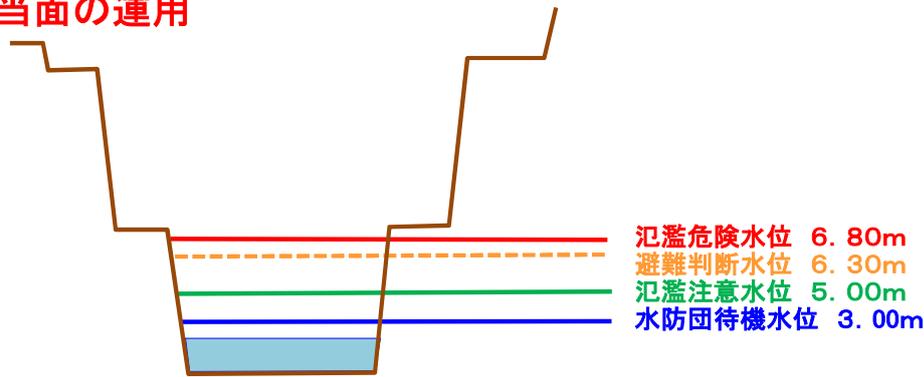
問い合わせ先	
国土交通省 北陸地方整備局	
河川調査官 岡本 弘基	TEL 025-280-8880(内線3513)
長野地方气象台	
防災管理官 藤田 宗一	TEL 026-232-3773

【立ヶ花水位観測所(51.5k)】

従来



当面の運用



見直しの考え方

- ①現在、堤防決壊箇所(57.5k)で洪水が安全に流下する高さは高水敷高です。
- ②①の高さの流量は、約4,000m<sup>3</sup>/sと見込まれます。
- ③堤防決壊箇所の基準観測所である立ヶ花水位観測所で約4,000m<sup>3</sup>/sが流下する水位から避難に必要な時間中の水位上昇分を減じて、氾濫危険水位を設定しました。
- ④氾濫危険水位から避難に必要な時間中の水位上昇分を減じて、避難判断水位を設定しました。
- ⑤氾濫注意水位と水防団待機水位については、現行と同じ水位としています。
- ⑥緊急復旧対策(鋼矢板仮締切堤防)が完了するまでは、今回見直しを行った水位で洪水予報の発表等を行います。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階